
コロッセウムの悲劇（ダメ出し禁止）

肩胛骨トミエ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コロッセウムの悲劇（ダメ出し禁止）

【Nコード】

N2622G

【作者名】

肩胛骨トミエ

【あらすじ】

古代ローマ時代、闘技場コロッセウムにて起こった悲劇。二人の剣士の運命は、そして残された妹は？ダメ出しは禁止だ！

(前書き)

注意

この小説を読んで気分が不愉快になっても筆者は責任をとりません。
また、この小説に限りダメ出しは禁止です。

古代ローマではコロッセウムという闘技場で人間が殺しあっていたのじゃ。

そんな場所故に、時にはこんなドラマも存在したと言われておる。

歓声がここまで聞こえてくる。

コロッセウムの戦士控室で俺は祈りを捧げていた。

死ぬわけにはいかない。病気の母が俺の帰りを待っている。

歓声が一際大きくなった。

時間だ。

祈りを終え、俺は出陣した。

部屋を出て、闘技場についた俺は戦う相手を見て絶句してしまった。

相手は幼いころから共に剣を競い合っていた親友だった。

彼は両親を亡くし、たった一人の妹のために戦っている。

親友の事を思い、俺は躊躇した。

しかし、コロッセウムには引き分けはない。

両者戦闘不能の場合は二人とも首が飛ぶ。

殺すか、殺されるかだった。

俺は母のために親友を殺すことにした。

勝負は一瞬だった。

俺は親友の胸に剣を突き立てた。

彼は動かなかった。

彼は優しい奴だったからだろうか。

「友よ、……妹を、頼む……。」

いまわの際、親友は俺にそういった。

「ああ、任せろ。あいつは俺が幸せにしてやる。」

俺は友の手を取り、涙に誓った。

という話じゃ。どや。おもしろいやろ。

え、よくある話だつて？あほ！ほんならお前が書いてみる！
意外と大変なんやねんぞ！

(後書き)

どや、おもしろかったやろ(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2622g/>

コロッセウムの悲劇（ダメ出し禁止）

2010年10月15日07時41分発行